

新生児慢性肺疾患 厚生労働科学研究班分類 (2023)

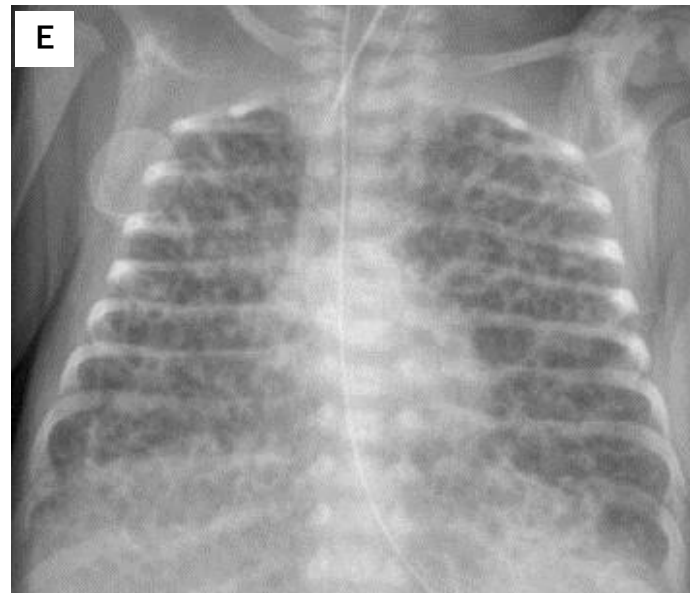
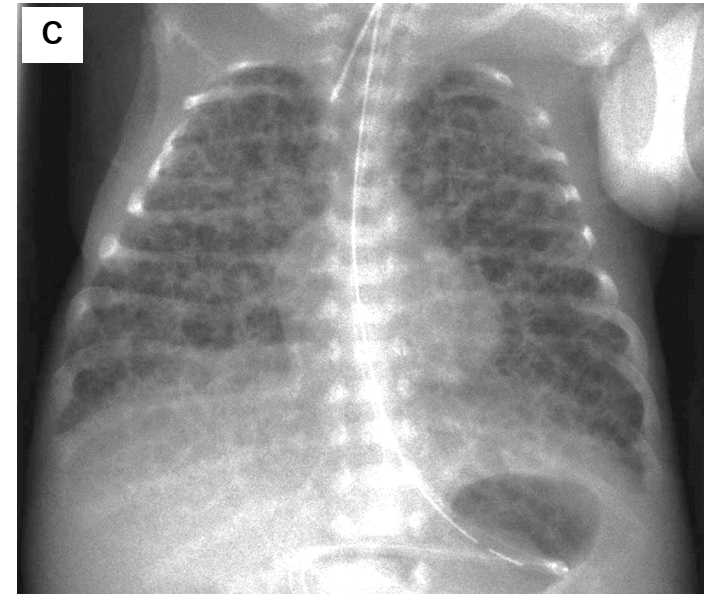
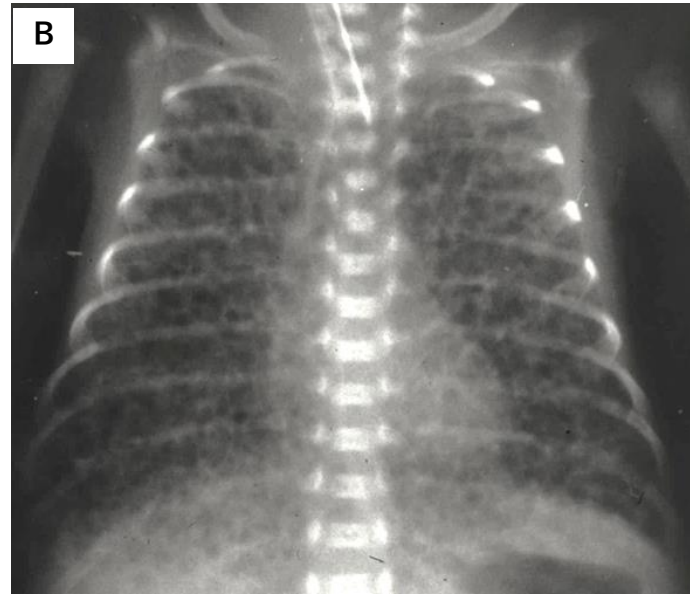
病型 ^{a)}	病理学的CAM	胸部単純X線写真正面像上のBubbly/Cystic所見 (日齢28以内)
I (s)	-	+
II (s)	-	-
III (s)	+	+
IV (s)	+	-
V	分類不能	



胸部単純X線写真正面像上のBubbly/cystic所見

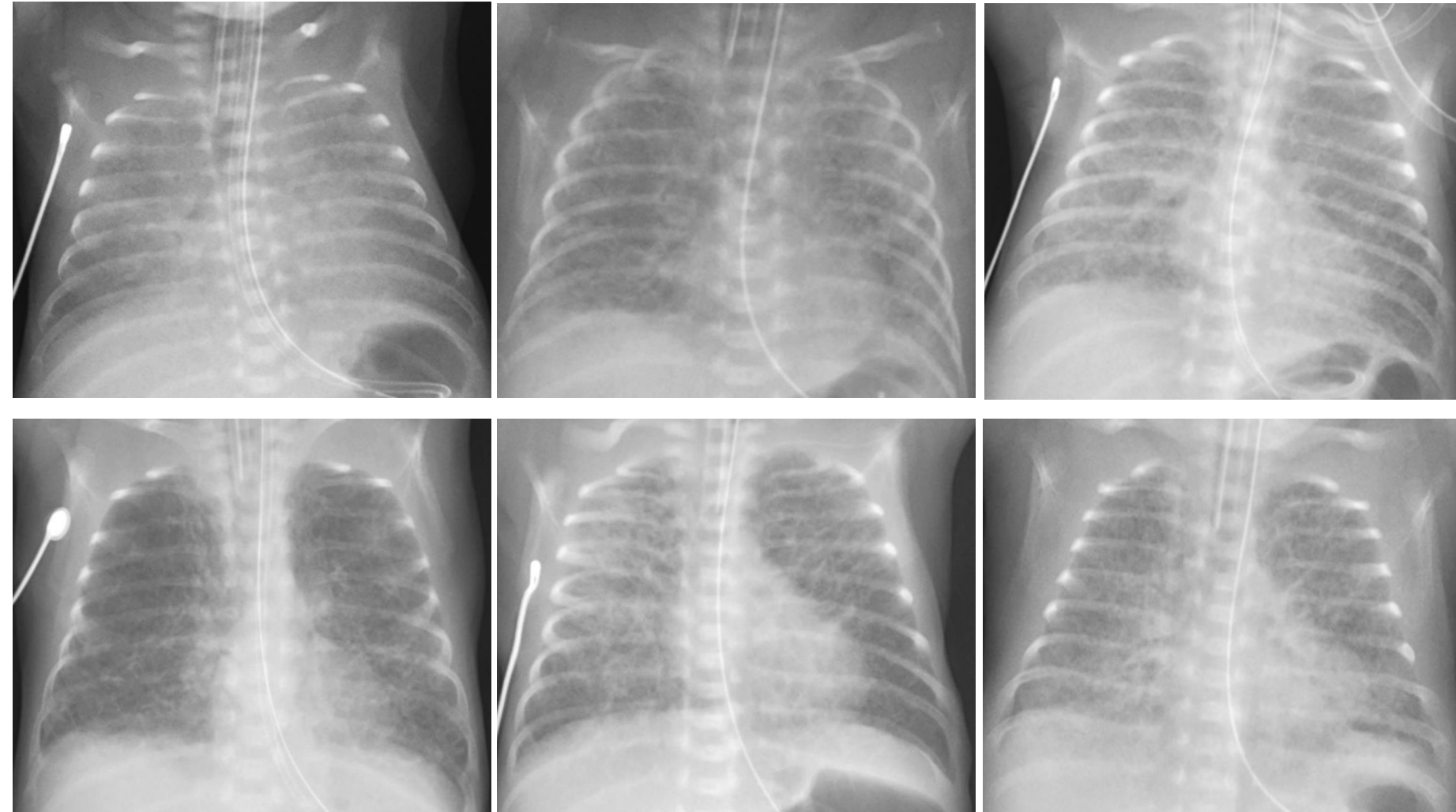
- a. 「病理学的絨毛膜羊膜炎(CAM)」 「胸部単純X線写真正面像上のBubbly/Cystic所見」 「Small-for-gestational age(SGA)」 の3つの項目を用いて5つに分類し、病型を表記
- b. **SGAは出生体重が10パーセント未満**のものとし、SGA(+)の場合には病型に「s」を付ける。
例) SGA(-)の場合はI、II、III、IV、SGA(+)の場合は、I s、II s、III s、IV sと表記する。
- a. CAMは、病理学的診断 (Blanc分類 またはRedline分類) に基づいたものとし、Stageは問わない。
- b. X線所見変化は日齢28以内に出現したものとし**肺を正中線で左右に分け、さらに各々を上下に分割して計4つの区域に分け、そのうち3つの領域においてびまん性の泡状/嚢胞性領域 (直径1.0~10.0mm) と索状影が認められるものとする (胸部単純X線写真正面像を参照)**
- c. 胎盤病理検査所見が不明の場合は、**胸部単純X線写真正面像**所見の有無に関わらず、V型に分類する。

参考) 胸部X線におけるBubbly/Cystic所見



- A) *Arai H, et al. Pediatr Int. 2019; Acta Paediatr. 2020*
- B) *Namba F, et al. Pediatr Int. 2016*
- C) *Hirata K, et al. Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed. 2015*
- D) *Muehlbacher T, et al. Children. 2021*
- E) *Morris S. Current Paediatrics. 2003*

参考) Bubbly/Cystic所見なし



- 上段左、上段中、上段右：透過性の低下はあるが索状影やBubbly/Cystic所見はない
- 下段左、下段中：一部索状影とBubbly/Cystic所見を肺上部領域に認めるが、3/4領域には満たさない
- 下段右：一部索状影を認めるが、肺下部領域は透過性低下が中心であり、3/4領域を超えて索状およびBubbly/Cystic所見は認めない。